

## 第50回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和4年4月28日（木） 10：30－12：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

松井座長、常田座長代理、関委員、永原委員、松本委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

河西局長、坂口審議官、渡邊参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課

福井課長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

堂谷教授

羽澄教授

4. 議事要旨

(1) 宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星「LiteBIRD」の開発の進捗状況について  
宇宙科学研究所（ISAS）から資料1を用いて、宇宙マイクロ波背景放射偏光観測衛星「LiteBIRD」の開発状況について説明があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

○NASA の参加取りやめにより、NASA 経由の研究者との連携と米国負担の代替が必要になると思う。他機関経由での研究者との連携、また、他機関による代替負担のメドがついたということか。

○海外の CNES、CSA がかなりの負担をする計画となっているが、その確証はどの程度得られているのか。また、CNES、CSA の協力が得られなかった場合、LiteBIRD の観測にどのような影響があるのか。

○LiteBIRD の 2028 年度打上げに向けて、プロジェクト化し来年度概算要求を行う必要があるのか。我が国が先行してプロジェクト化しないと、海外の開発の動きが止まってしまうのか。

○LiteBIRD の 2028 年度打上げがサイエンスとして特別な意味があるのか。

○プロジェクト化して来年度概算要求することの説得性が弱いのではないか。

○一方、これまでの開発成果は出てきており、更に開発を進めていくうえでエンカレッジしていくことも重要。来年度大きな金額を概算要求できないにしても、プロジェクト化することは海外との関係でも重要なのではないか。

以上